

大田区自立支援協議会だより

編集・発行 大田区自立支援協議会
事務局 大田区福祉部障害福祉課障害者支援担当（計画）
電話 03 (5744) 1700
ファックス 03 (5744) 1592

第5号 平成26年3月

「大田区自立支援協議会」は、障がい者及び障がい児の地域における自立した生活を支援するため、相談支援事業をはじめ、地域の障がい福祉の課題について具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。協議会委員は、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者で構成しています。

●さらに開かれた協議会を目指して

大田区自立支援協議会会長 志村 陽子

継続的な課題に加え、より新しい取り組みや、いよいよ次年度末に開設される（仮称）障がい者総合サポートセンターの事業内容の検討など、平成25年度の自立支援協議会は充実した活動となりました。特に今年度新設された「こども部会」では、先んじてあった課題である、知的・発達に障がい疑われ始める乳幼児期の家族を含めた支援に関して、こども家庭部の協力も得ながら検討を進めました。また、防災部会で作成した『たすけてねカード』は『ヘルプカード』として、2月から皆様に配布しはじめました。さらなる普及啓発に努力します。他の3部会もそれぞれに、ここまでの積み重ねの上に立って外に向けた取り組みに着手しました。

また、協議会全体の運営などに係る部分に関して運営会議を開催し、その全体の動き方の充実と発展を図るための検討に取り掛かりました。今後も、関わりある皆様には是非ご興味を持っていただき、ご意見をいただけますよう、この紙面をもって重ねてお願い申し上げます。

平成26年度の自立支援協議会も、「馬車馬」のように頑張ります！

●『進化するサポートセンター』をめざして

障害福祉課障害者支援担当係長（障がい者総合サポートセンター） 齊藤 禄美

（仮称）障がい者総合サポートセンターについて、自立支援協議会にて検討がされてから早や五年が経ちました。サポートセンターの機能の4つの柱は、相談支援・地域交流支援・就労支援・居住支援の4つの部門であることは、既にご承知のことと思います。

これから検討することは何か。平成27年3月の開設に向けて、何をやるか、誰がやるか。いわゆる「今でしょ？」のごとく、今まで積み重ねてきた検討を、具体的な行動に反映していく最終局面に差し掛かってきました。

準備に相当の時間を費やしてきた担当の気分としては、開所式が当面の目標と考えてしまいそうですが、いえいえそれではいけません。開所式が誕生日、これからサポートセンターはどんどん進化していかなければなりません。委員をはじめとする区民のみなさまとともに、サポートセンター進化論を綴っていかなくてはなりません。

平成26年度 専門部会活動紹介

相談支援部会

相談支援部会では、取り組みの中から以下の課題を抽出し、活動目標としました。

1. 支援困難事例の提出を今までは協議会・部会委員を中心に行ってきたが、既存のネットワークへの呼びかけや協議会他部会参加者等への事例提出依頼を行う。
2. 区内支援者間での相談支援・ケアマネジメント・計画相談についての知識・価値観の共有に関しては、個別支援会議を理解、推し進めていける人材の育成(研修の実施)や相談支援技法としてのケアマネジメントの手法・位置づけを共有する取り組みで対応する。
3. 個別支援会議結果表で整理した地域課題へどう取り組んでいくかについては、他部会と協力しながら、民間からの要請・要望ではなく、協議会として官民が一体となって取り組んでいく道筋を検討。

防災部会

防災部会で作成した「たすけてねカード」と東京都が普及啓発を進める「ヘルプカード」を統合し、災害時に限らず、障がいに対する理解と支援を求めるツールとして、常に携帯できるような実用化の検討を行い、2月から配布を始めました。

池上地区での総合防災訓練では、福祉避難所開設実働訓練にも参加し、防災意識をさらに高めました。また、地域の防災訓練への継続的な参加や、防災を考えるきっかけとなるシンポジウムを開催するなど、障がい者にとっての自助・共助につながる取り組みを行いました。

今後は、障がい当事者の継続した訓練参加や福祉避難所開設訓練の提案など、より地域との連携を深めていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

精神障害者の就労支援部会

部会発足当時の課題として、「企業を含め、より広く実践的な就労支援ネットワークが必要なこと」、「就労のきっかけとして実習が有益であるが、現状ではその機会が少ないこと」、「特に通いやすい大田区近隣の実習先が少ないこと」が挙げられ、検討を進めてきました。ひとつの試みとして昨年度から部会主催の「大田区版職場体験実習」を行い、今年度は、新委員の活躍もあって実習先が拡大し、7か所の体験先で実習が行われました。



▲職場体験実習中の風景

昨年度同様、職場体験実習の報告会も開催し、多くの当事者・支援者の方にご参加いただきました。区内の就労支援関係者の連携協力によって具体的な実習活動を組み立て実践することが、今後の区の就労支援の在り方の検討やネットワークの構築を進めるきっかけになると考えますので、部会委員一同取り組んでいきたいと思ひます。

地域資源評価開発部会

～居宅介護事業所の連携の先にあるもの～

今年度、地域資源評価開発部会においては、障がい者支援の居宅介護事業所の連携の必要性について検討を重ねました。専門性を生かし支援の質を高めていくためにも「顔を合わせ話し合う」機会を作る必要性があります。東日本大震災の際に介護事業所が避難場所や災害支援センターの役割を担ったところがあったそうです。事業者が連携を図ることの先には、安心して暮らせる大田区が見えてきます。

こども部会

今年度新設のこども部会では、ライフステージに沿った継続的な相談支援の実現を目標に活動しました。乳幼児期～学齢期とそれぞれの現状を把握し課題を抽出していくなかで、こどもだけではなく家族への支援も必要とする現状がみえてきました。また、区内に支援サービス事業所が増える一方で、関係機関の情報共有や相互理解を図る等、区全体の支援ネットワークを構築していくことの重要性を感じました。来年度も、この大きな課題に向けて検討を重ねていきたいと思ひます。



研修会を開催しました！

各専門部会が企画をして、研修会を開催いたしました。11月には防災部会、12月には相談支援部会が研修会を行い、多くの方にご参加いただきました。どちらも終了後のアンケートでは、「参考になった」「講師の先生の説明がわかりやすかった」との感想をいただきました。今後も、地域課題の解決につながる実のある研修会ができるよう、各部会で取り組んでまいります。



【防災部会企画】

防災を考えるきっかけシンポジウム

～災害時要援護者と地域のつながり～

日時：平成25年11月29日(金)13:30～15:30

会場：大田区民プラザ 地下1階 展示室

シンポジスト：東京消防庁防災安全課防災福祉係長 袖山 みゆき氏

大田区立南六郷福祉園施設長 中原 浩氏

大田区地域振興部防災課・福祉部蒲田地域福祉課・障害福祉課

大田区自立支援協議会防災部会部会長 荒木 千恵美

参加者：72名

★ 大田区自立支援協議会 ホームページ<http://www.city.ota.tokyo.jp/> ★

大田区役所HPトップページ⇒福祉⇒障害者の支援(難病の方への支援も含む)⇒大田区自立支援協議会

大田区自立支援協議会全体会・専門部会の活動報告、

「大田区自立支援協議会だより」バックナンバー、

大田区自立支援協議会設置要綱、

平成25年度大田区自立支援協議会委員名簿 等が閲覧できます。



【相談支援部会企画】

大田区で目指す相談支援体制とは～本人中心のケアマネジメントの実践～

日時：平成25年12月10日(火)13:30～15:30

会場：入新井集会室(Luz 大森 4階)

講師：サポートセンターきぬた 金川 洋輔氏

参加者：47名

【編集後記】

今年度の協議会活動は、3月5日に開催した全体会でまとめを行いました。関係機関の方々をはじめ、協議会活動にご協力くださったすべての皆様に感謝いたします。また、委員の皆様、大変お疲れ様でした。

来年度も、この「たより」を情報発信のひとつとして協議会活動を広報していきたいと思っております。